



CyberDefense

WITH GREAT POWER COMES GREAT RESPONSIBILITY

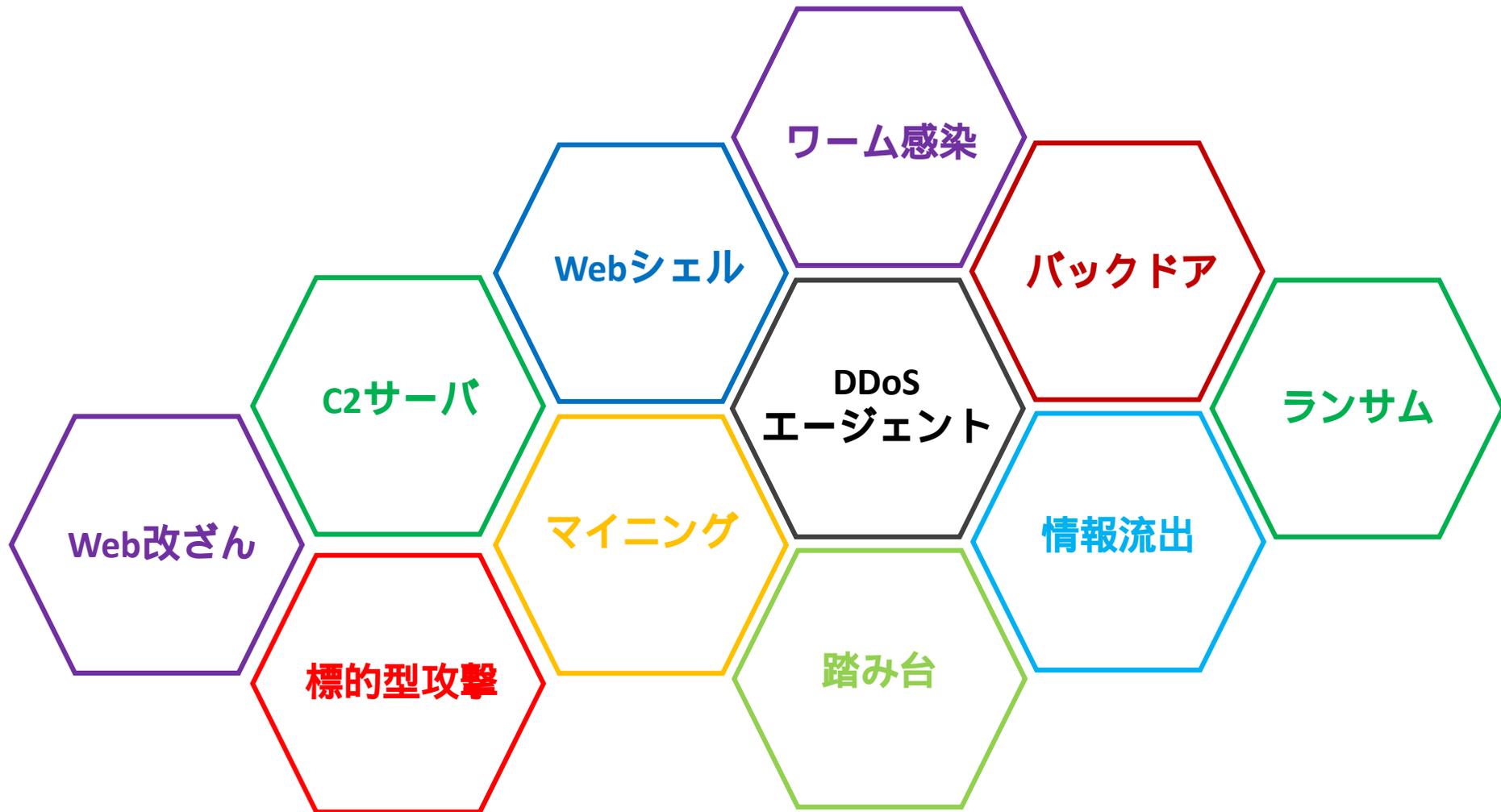
サイバー攻撃を認知した場合の 証拠保全は？

デジタル・フォレンジック・コミュニティ2019 in 関西

2019年2月19日

株式会社サイバーディフェンス研究所

大徳 達也



初動対応

被害範囲の確認

サービス停止
有無の判断

顧客・取引先
対応

専門ベンダー等
への調査依頼

原因調査

侵害原因調査

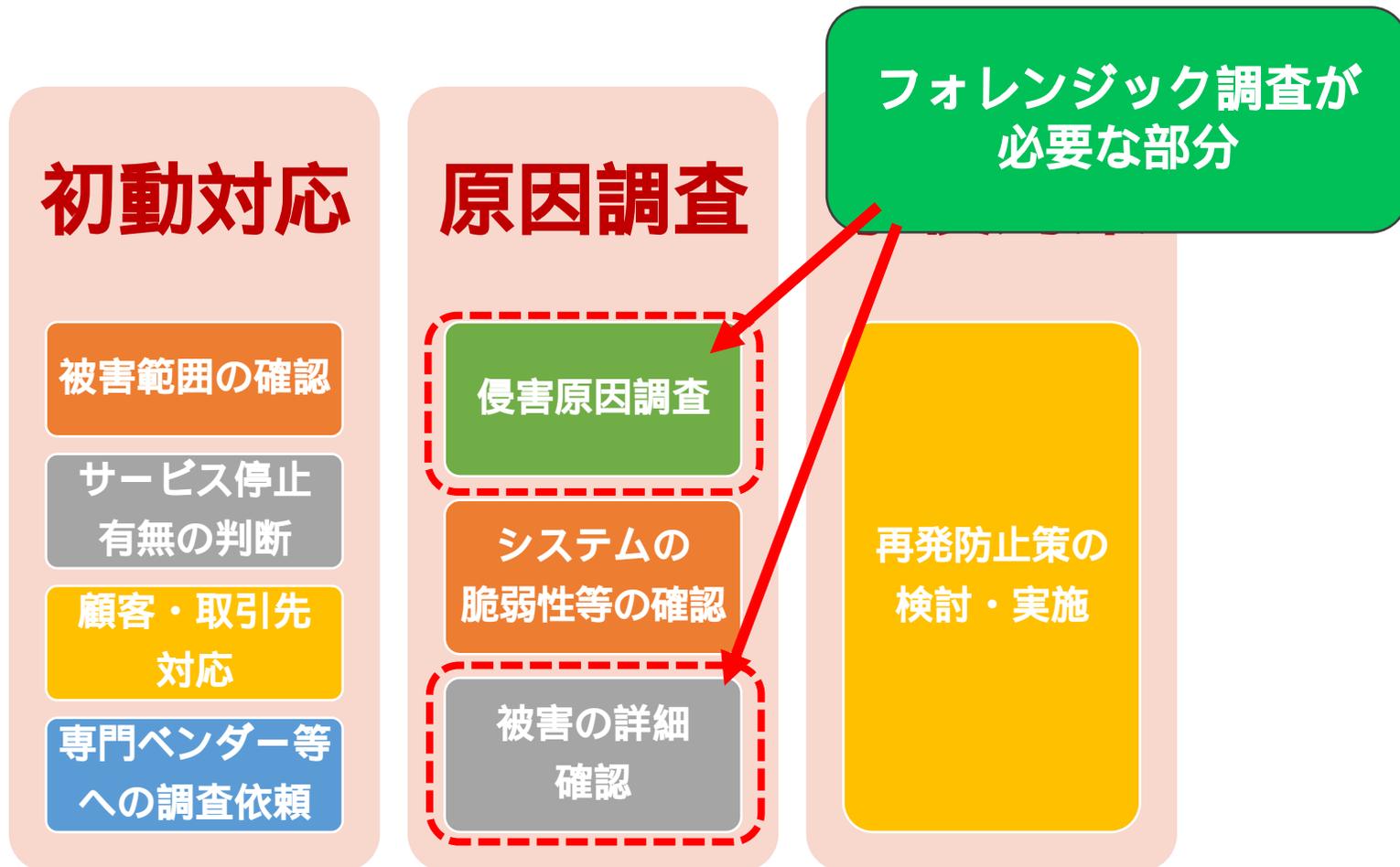
システムの
脆弱性等の確認

被害の詳細
確認

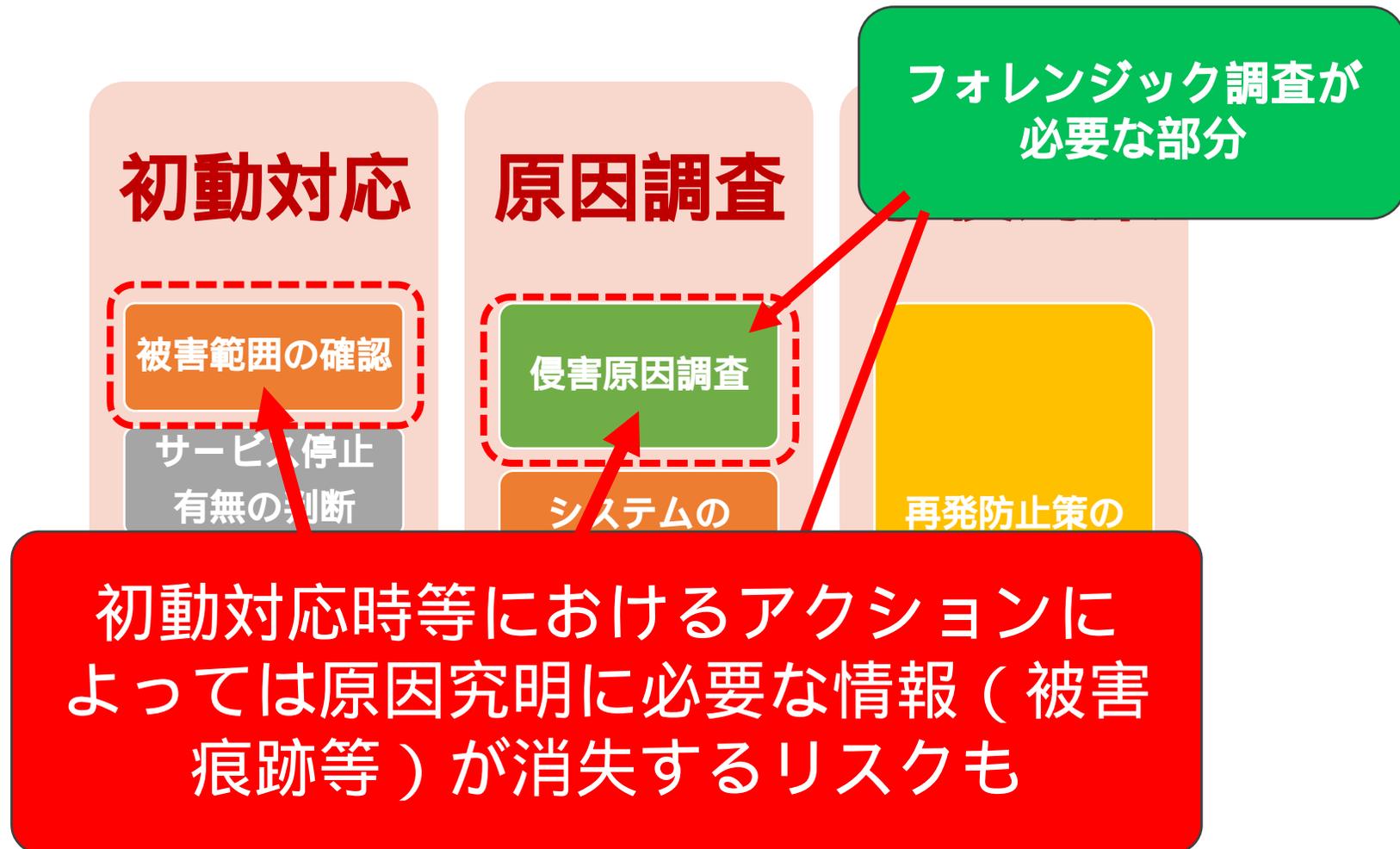
事後対策

再発防止策の
検討・実施

【参考】サイバーセキュリティ経営ガイドライン
付録C インシデント発生時に組織内で整理しておくべき事項
http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/mng_guide.html



【参考】サイバーセキュリティ経営ガイドライン
付録C インシデント発生時に組織内で整理しておくべき事項
http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/mng_guide.html



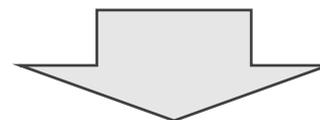
【参考】サイバーセキュリティ経営ガイドライン
付録C インシデント発生時に組織内で整理しておくべき事項
http://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/mng_guide.html

デジタル・データ（電磁的記録）の代表的な特徴

複写

消去

改変



上記の特徴から取り扱いを誤ると、
フォレンジック調査への影響は避けられない



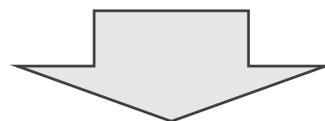
侵害当時のログがなくなった



動作中のプログラムがファイルを作成

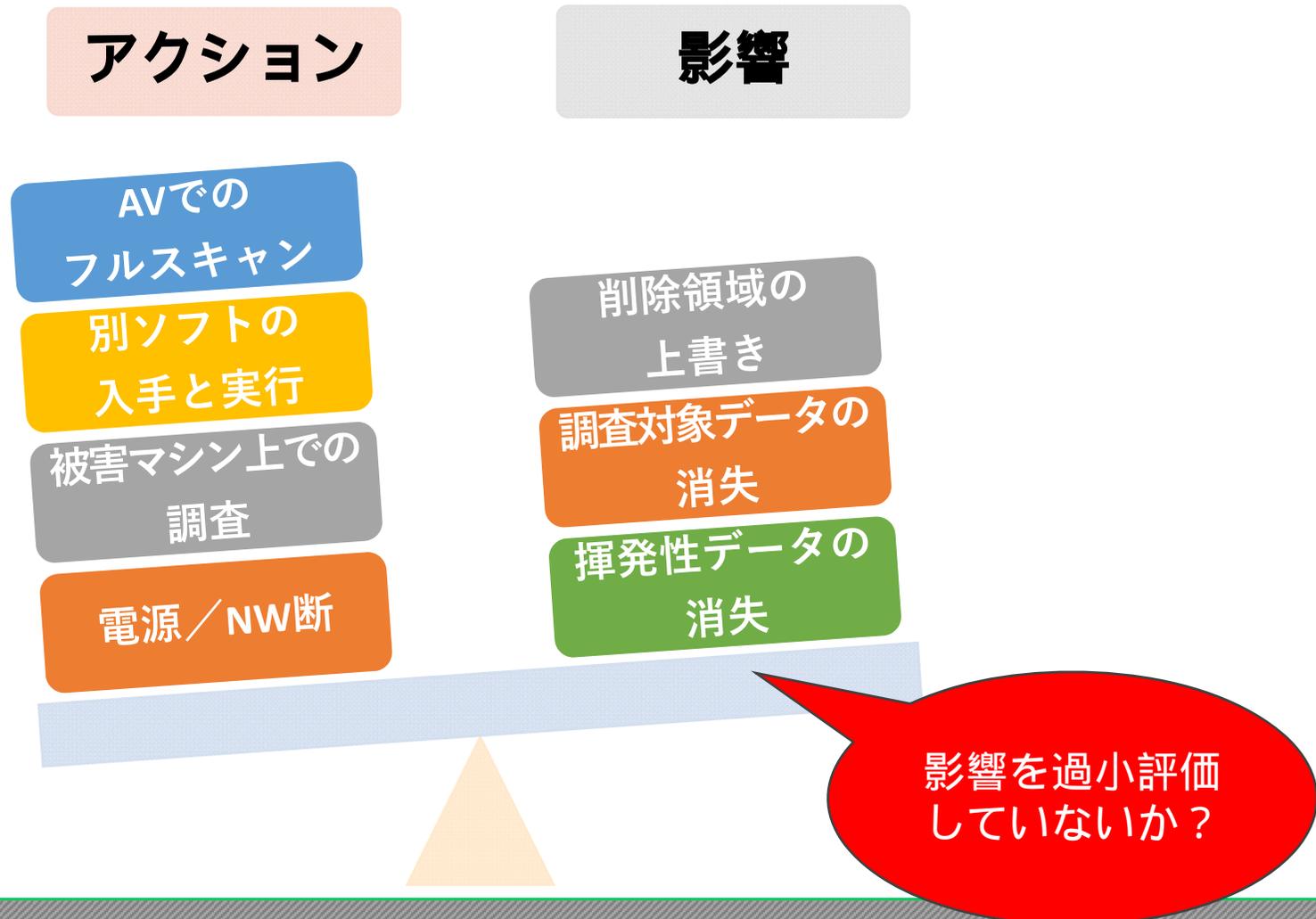


攻撃者が削除したファイルの領域が上書き



フォレンジック調査への影響は**大**

初動対応時のアクションとその影響のバランスを考える



フォレンジック調査の実施有無に限らず
証拠保全する方が望ましい(のは分かる)

しかし、現実には・・・。

- 厳格なフォレンジック調査までは不要。
- 専用機器やツールを整備していない。
- そんな難しいことをできる人はいない。
- 証拠保全してたら時間がかかる。
- けど初動対応はちゃんとしておきたい。 etc...



解決策は？

最初の1、2台のPC調査までは良かったが・・・。

怪しいPCは全て
保全する必要があるのか？

侵害程度の
低そうなPCも
調査解析するのか？

コストは？
(予算、人、時間)

調査したが何も
出てこない場合も
あるのでは？

調査完了は
いつ？

従来のフォレンジック調査のやり方でいいのか？

**初動対応手順の整備
(マニュアル化など)**

被害を想定した訓練の実施
証拠保全を含めた対応に要する時間は？
そもそも証拠保全は可能か

**調査に必要な
証拠・期間の見直し**

必要十分な証拠は、自社に限らず
調査ベンダーにとっても必要（有益）

**必要な予算と
調査ベンダーの確保**

適切な予算、サイバー保険の確保
速やかな調査着手のための事前NDA締結